

かしま

ほっと HOT ほっと hot 通信

4月号 Vol.303

平成30年(2018年)4月1日発行

■編集/かしま病院広報委員会
 ■発行/社団法人 養生会
 〒971-8143
 福島県いわき市鹿島町下蔵持字中沢目22-1
 tel.0246-58-8010(代) fax.0246-58-8088

ご意見・ご感想は...
 上記住所へ郵便、またはE-mailでお送り下さい。
 かしま病院広報委員会(井沢 宛)まで
 k-izawa@kashima.jp

ホームページ <http://www.kashima.jp>

かしま病院

検索

携帯サイト <http://www.kashima.jp/m/>

インターネット閲覧機能搭載の携帯電話から、
 クリニックかしまの診療科情報をご覧いただけます。



- 1 巻頭特集
「春の献血に行きませんか」
あなたの献血が、多くの人の命を救います。
- 2 お宅訪問隊 **新連載**
～住み慣れた 私たちの街で...～
- 3 コラム ひんがら目(130)
「呼吸器診療の危機」
呼吸器科 部長 山根 喜男
- 4 ようこそ家庭医療へ!
リハビリPOST
イベント開催予定のお知らせ
かしま荘通信

平成30年度 かしま病院「看護の日イベント」開催のお知らせ



ナイチンゲールの誕生日を記念したイベント
 「看護の日」を今年も開催します!

内容

- ・健康相談 ・各種計測(血圧、身長、体重、体脂肪率)
- ・乳がん触診体験 ・栄養相談
- ・介護相談(在宅介護、食事、嚥下障害、排泄など)



開催日 平成30年5月10日(木)

時間 9時30分～12時00分

場所 かしま病院外来受付 授乳室前

看護師、管理栄養士、摂食・嚥下障害看護認定看護師、ソーシャルワーカーなどが対応致します。
 どうぞお気軽にご利用ください。

巻頭特集

春の献血に行きませんか

あなたの献血が、多くの人の命を救います。



献血の種類

献 血とは、輸血を必要とする患者さんのために、健康な方が自分の血液を無償で提供することです。
 血液は、栄養や酸素を運搬する他、身体を守る免疫など、人間の生命を維持するために欠くことのできない機能をたくさん担っています。病気や事故などにより、血液の機能が一部でも失われると、生命の維持に重大な影響を与えます。しかし、血液の機能を完全に代替する人工血液は、

まだ作られません。このため、輸血は、現代の医療において欠かすことができない重要な治療法の一つとなっています。
 また、血液は、生きた細胞のため長期間保存することができません。最も使用期限が短い血小板製剤は、採血後4日間しか使用出来ません。必要とされる血液量を十分に確保するためには、多くの方の献血を絶えず必要としています。
 献血には、大きく分けて、血液の全ての成分を献血する全血献血と、血漿や血小板だけを献血する成分献血の2種類あります。
 成分献血は、成分採血装置を使って、血漿や血小板などの特定の成分だけを採血して、体内で再生に時間がかかる赤血球を体内に戻します。身体への負担が軽く、全血献血より多くの血漿や血小板を献血出来ます。
 人間の血液は、ABOなどの血液型が同じでもそれぞれ微妙な違いがあり、これが輸血時の副作用の原因になります。副作用のリスクは、輸血時に複数の献血者の血液を合わせると高くなります。400ml 献血は、200ml 献血に比べて少ない献血者からの輸血を可能にし、副作用のリスクも低減されます。また、医療機関の需要の95%以上が400ml 献血由来の血液製剤です。このため、日本赤十字社では、基準を満たしている方には、できるだけ400ml の全血献血をお願いしています。